

## 地域再生計画事後評価

1. 地域再生計画作成主体	福岡県朝倉市			
2. 地域再生計画の名称	福岡県汚水処理構想推進及び朝倉市「水源地」再生計画			
3. 地域再生計画期間	平成17年度～平成21年度			
4. 実施した事業	公共下水道（流域関連、認可済み） 朝倉市 甘木、立石、馬田地区 公共下水道（特定環境保全、認可済み） 朝倉市 秋月、上秋月、安川地区 農業集落排水施設 朝倉市 蝸城地区 浄化槽（市設置型） 朝倉市全域（集合処理の計画されていない地域） 浄化槽（個人設置型） 朝倉市 甘木地域の全域（集合処理の認可区域及び市設置型で整備する場合は除く）、 杷木地域の全域（市設置型で整備する場合は除く）			
5. 地域再生計画に記載した 数値目標の達成状況	計 画	目 標 値	実 績 値 (H21年度末)	評 価
	計画① 汚水処理人口普及率を51.9% (H17年度末) から73.0% (H21年度末) 以上に向上	73.0%以上	65.5%	目標値に到達できなかったが、汚水処理施設交付金の活用により計画的・効果的に整備でき、汚水処理人口の普及を図ることができた。
	計画② 小石原川・佐田川の水質改善（BOD 小石原川1.3 mg/L・佐田川1.6 mg/Lを、1 mg/L以下に引き下げる）	1 mg/L以下	小石原川 0.60 mg/L 佐田川 0.78 mg/L	水質改善され、目標到達できた。
6. 総合評価と今後の方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画①について            汚水処理人口普及率は汚水処理交付金を活用した事業が計画を下回ったため数値目標に届いていない。            しかし、以下の各事業別の取り組みにより、普及率の向上を図る。           <ol style="list-style-type: none"> <li>1 住宅が密集した公共下水道事業（流域関連）甘木、立石、馬田地区は平成21年度末で整備率が約30%である。                今後は上記地区の整備を図るため、供用開始区域が拡大することで汚水処理人口普及率の向上が期待される。</li> <li>2 農業集落排水事業は平成20年度で完了した。未接続者への接続勧奨等で普及率向上の取り組みに重点を置く。</li> <li>3 浄化槽事業は各家庭・事業所が申請する整備方法であるため、市報・ホームページへの事業概要の掲載や、要望があれば地区説明会を実施する等、浄化槽設置の理解を求めていく。</li> </ol> </li> <li>・ 計画②について            BODの数値は計画期間において水質調査を年4回実施し、数値改善が見られた。            引き続きBODの数値に注意を払い、継続して数値の維持とさらなる水質改善に努力したい。</li> <li>・ 公共下水道と浄化槽を総合的に整備する汚水処理施設整備交付金の活用で5年間の汚水処理人口普及率は上昇した。            また、普及率に比例して小石原川・佐田川の水質も改善している。            地域再生計画で朝倉市内の生活環境の改善が図られたことはもとより、福岡市と福岡都市圏の飲料水の水源地として、重要な役割を担っていることから、今後も引き続き下水道事業の促進を図っていく。</li> </ul>			